

2022年12月期 第1四半期 決算説明資料

2022年5月11日
サイバーコム株式会社
東証スタンダード<3852>

1. 決算概要	P 3
2. 営業利益増減分析	P 4
3. セグメント別業績	P 5
4. 貸借対照表	P 6
5. 参考情報		
(1) セグメント別売上高	P 7
(2) 顧客別売上構成比	P 8
(3) 業績予想	P 9
(4) 配当の状況	P 10
(5) 自己資本当期純利益率	P 11
(6) 中期業績予想	P 12
(7) 会社概要	P 13
(8) これまでの歩み	P 14

1. 決算概要

2022年12月期 第1四半期実績

(単位：百万円)

	前年同期 (21/01-21/03)	当期 第1四半期 (22/01-22/03)	増減／増減比	
売上高	3,717	4,155	438	+11.8%
営業利益	402	448	45	+11.2%
営業利益率	10.8%	10.8%	—	—
経常利益	405	453	48	+11.9%
経常利益率	10.9%	10.9%	—	—
四半期純利益	280	314	33	+12.1%
四半期純利益率	7.6%	7.6%	—	—
1株当たり 四半期純利益	35.02円	39.25円	4.23円	—
ROE (自己資本当期純利益率)	5.1%	5.1%	0.0%	—

◇売上高は、3月決算のお客様による駆け込み需要があり、ソフトウェア開発事業とサービス事業が共に好調に推移し41億55百万円（前年同期比 11.8%増）と増収になりました。

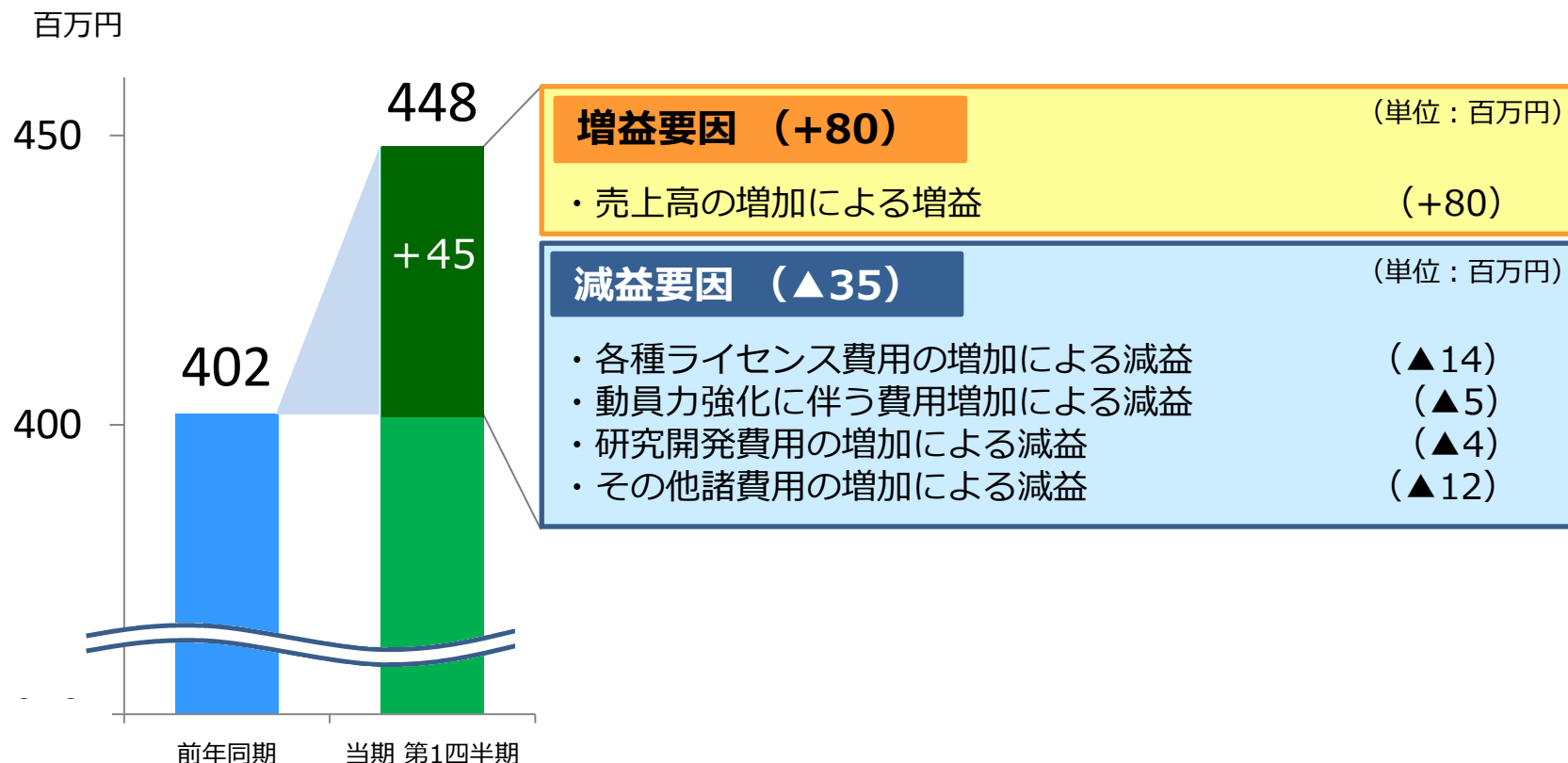
◇営業利益は、増収効果により4億48百万円（前年同期比 11.2%増）と増益になりました。

◇四半期純利益は、3億14百万円（前年同期比 12.1%増）と増益になりました。

※当第一四半期会計期間より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期末首残高への影響もありません。

2. 営業利益増減分析

2022年12月期 第1四半期実績



◇営業利益の増加要因

各種ライセンス費用、動員力強化に伴う費用、研究開発費用等の増加があったものの、増収効果により前年同期に比べ増益となりました。

3. セグメント別業績

2022年12月期 第1四半期セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益または損失			
	実績	構成比	前同差	前同比	実績	利益率	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	3,289	79.2%	362	+12.4%	592	18.0%	100	+20.4%
通信ソフトウェア開発	776	18.7%	12	+1.6%	116	15.0%	1	+1.2%
制御ソフトウェア開発	745	17.9%	127	+20.5%	133	17.9%	24	+22.2%
業務ソフトウェア開発	1,767	42.5%	222	+14.4%	343	19.4%	74	+27.9%
サービス事業	859	20.7%	76	+9.7%	134	15.6%	12	+9.8%
ファシリティ事業	6	0.2%	0	+0.3%	2	39.8%	0	+3.3%
本社調整 (※)	—	—	—	—	▲281	—	▲67	—
合計	4,155	100.0%	438	+11.8%	448	10.8%	45	+11.2%

※「セグメント利益または損失」の本社調整は、各セグメントに帰属しない全社費用であり、主に販売費及び一般管理費であります。

- ◇通信ソフトウェア開発は、第5世代移動通信（5G）のコアネットワーク装置開発案件等の増加により、売上高は前年同期比1.6%増、セグメント利益は前年同期比1.2%増と**増収・増益**になりました。
- ◇制御ソフトウェア開発は、売上高は前年同期比20.5%増、セグメント利益は前年同期比22.2%増と**増収・増益**になりました。
- ◇業務ソフトウェア開発は、金融系システム、流通系システム、公共系システム等の作業規模拡大により、売上高は前年同期比14.4%増、セグメント利益は前年同期比27.9%増と**増収・増益**になりました。
- ◇サービス事業は、SIサービスにおいて社会インフラ及び金融系を中心とした仮想化やクラウドへの移行案件、セキュリティ対策案件、ネットワーク構築案件等が堅調に推移し、第5世代移動通信（5G）の基地局検証案件は好調に推移しました。
また、自社プロダクトである「Cyber Smart」シリーズ製品は、コールセンター構築や年間保守の増加により好調に推移し、位置情報ソリューション「Cyber Position Navi」につきましてもお問合せを多くいただき、好調に推移しております。

4. 貸借対照表

貸借対照表のポイント（前期末比較）

（単位：百万円）

	前期末 2021/12	第1四半期末 2022/03	前期末差
流動資産	7,502	6,948	▲554
現金及び預金	912	905	▲6
受取手形及び売掛金	3,509	—	▲3,509
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,506	3,506
商品	6	5	▲1
仕掛品	88	74	▲14
短期貸付金	2,842	2,400	▲441
その他	142	55	▲87
固定資産	3,635	3,494	▲140
有形固定資産	2,478	2,471	▲6
無形固定資産	18	16	▲1
その他	1,138	1,005	▲132
資産合計	11,137	10,442	▲694
流動負債	2,765	1,880	▲884
買掛金	598	648	50
未払費用	504	315	▲188
未払法人税等	430	22	▲408
賞与引当金	722	315	▲406
役員賞与引当金	28	6	▲22
その他	480	571	90
固定負債	2,326	2,362	35
退職給付引当金	2,288	2,322	34
役員退職慰労引当金	38	39	1
負債合計	5,092	4,243	▲849
純資産合計	6,044	6,199	154
負債純資産合計	11,137	10,442	▲694

主な増減要因

- ①CMS貸付金の減少
- ②2021年度 法人税等納付による減少
法人税等 ▲298百万円
県民・市民税 ▲133百万円
- ③2022年度 春季賞与支給による減少
▲722百万円
2022年度 秋季賞与引当による増加
315百万円

※ CMSとはキャッシュ・マネジメント・システムの略称であり、当社では富士ソフト株式会社に余剰資金の貸付を行っております。

◇ご参考

	2021年12月末	2022年3月末
1株当たり純資産	753.64円	772.89円
自己資本比率	54.3%	59.4%

5. 参考情報 (セグメント別売上高)

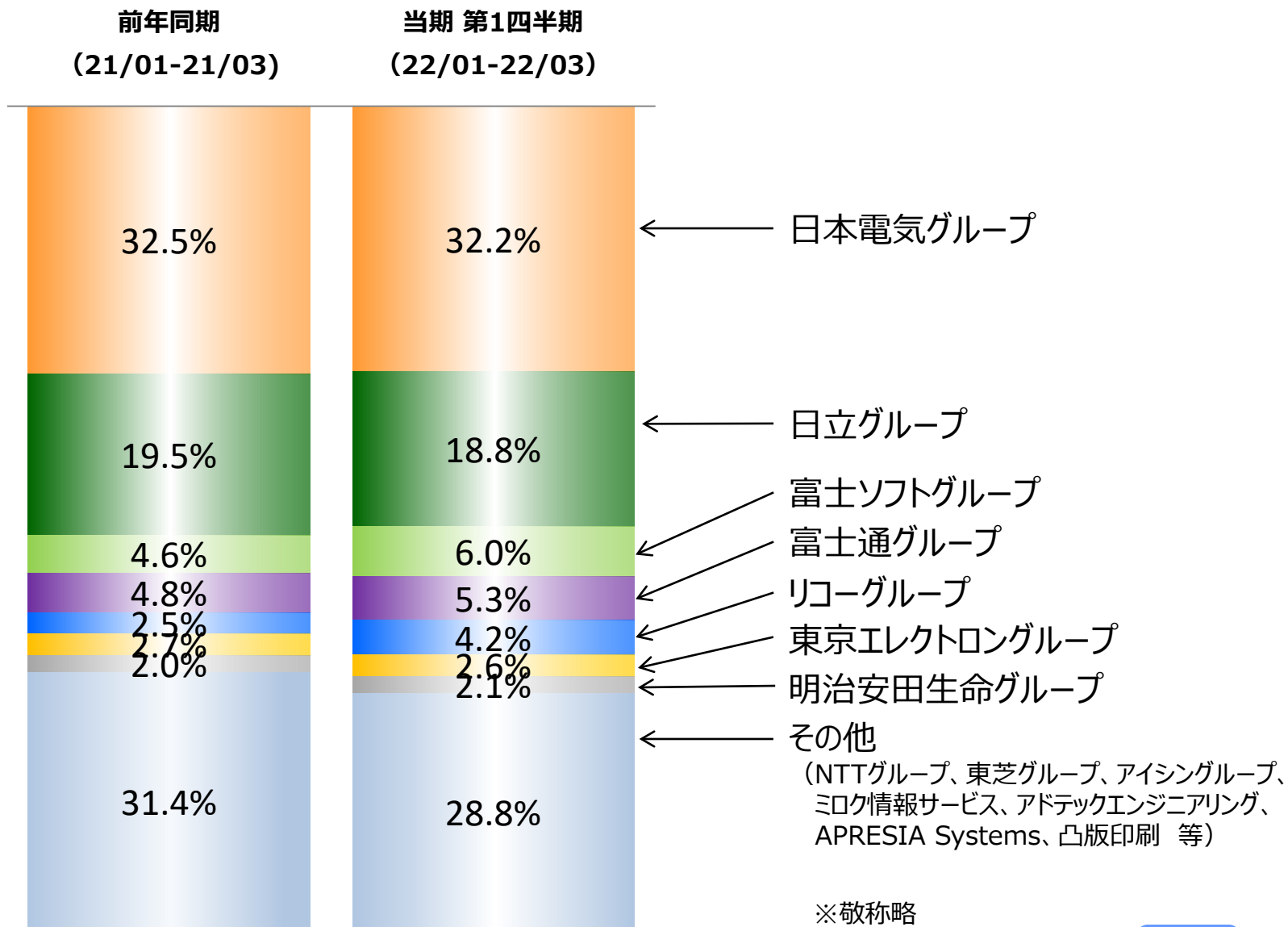
セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2021年12月期			2022年12月期			
	第1四半期 (2021年1月～3月)			第1四半期 (2022年1月～3月)			
	金額	構成比	前同比	金額	構成比	前同差	前同比
ソフトウェア開発事業	2,926	78.7%	+6.0%	3,289	79.2%	362	+12.4%
通信ソフトウェア開発	764	20.6%	+65.6%	776	18.7%	12	+1.6%
通信基盤	617	16.6%	+130.7%	684	16.5%	67	+10.9%
その他通信	147	4.0%	▲24.2%	92	2.2%	▲54	▲37.4%
制御ソフトウェア開発	618	16.6%	▲21.9%	745	17.9%	127	+20.5%
車載	324	8.7%	▲32.7%	351	8.5%	27	+8.4%
その他制御	293	7.9%	▲5.1%	393	9.5%	99	+34.0%
業務ソフトウェア開発	1,544	41.5%	+2.4%	1,767	42.5%	222	+14.4%
金融	422	11.4%	▲12.9%	606	14.6%	183	+43.4%
公共	248	6.7%	+21.5%	302	7.3%	53	+21.6%
情報通信	238	6.4%	▲1.8%	220	5.3%	▲17	▲7.5%
製造	249	6.7%	+29.7%	183	4.4%	▲66	▲26.4%
流通	106	2.9%	+16.0%	174	4.2%	68	+64.5%
医療	153	4.1%	+10.2%	112	2.7%	▲40	▲26.6%
その他業務	124	3.3%	▲18.1%	166	4.0%	42	33.8%
サービス事業	783	21.1%	+10.7%	859	20.7%	76	+9.7%
ファシリティ事業	6	0.2%	▲49.2%	6	0.2%	0	+0.3%
合計	3,717	100.0%	+6.7%	4,155	100.0%	438	+11.8%

5. 参考情報（顧客別売上構成比）

顧客別売上構成比（前年同期比較）



5. 参考情報（業績予想）

2022年12月期 業績予想

(単位：百万円)

	前期実績 (21/01-21/12)	業績予想 (22/01-22/12)	増減／増減比	
売上高	15,528	16,300	+771	+5.0%
営業利益	953	1,000	+46	+4.8%
営業利益率	6.1%	6.1%	—	—
経常利益	1,031	1,020	▲11	▲1.1%
経常利益率	6.6%	6.3%	—	—
当期純利益	704	700	▲4	▲0.7%
当期純利益率	4.5%	4.3%	—	—
1株当たり 当期純利益	87.86円	87.27円	▲0.59円	—

通期の業績予想につきましては、2022年2月10日発表のとおりで変更ありません。

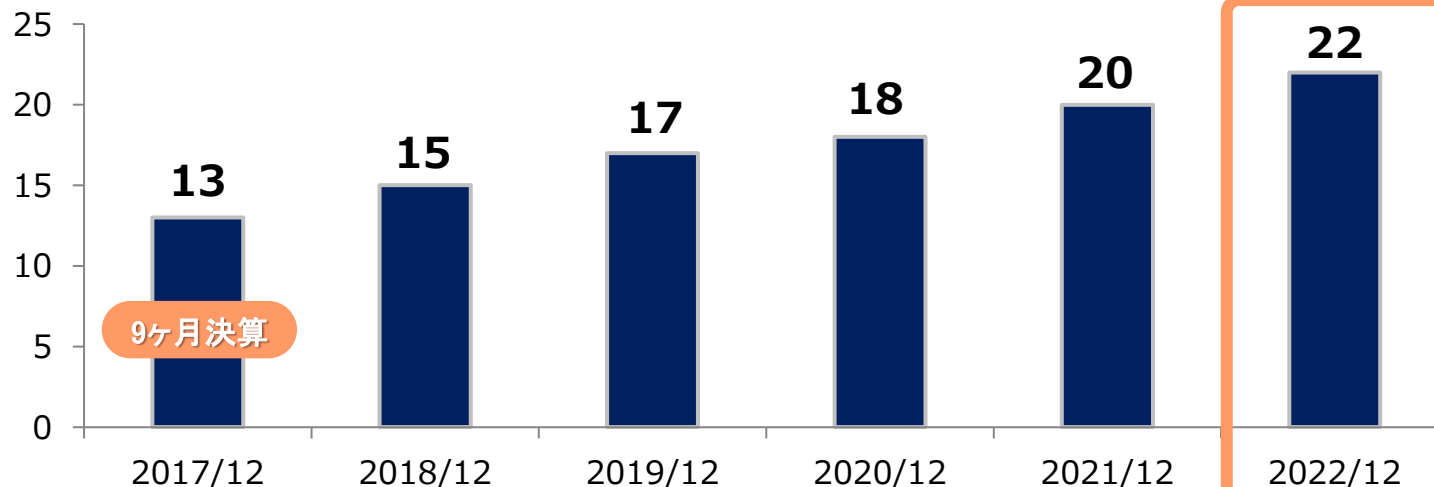
5. 参考情報（配当の状況）

配当の状況

「安定した配当」を継続して実施

増配の継続、配当性向と純資産配当率の向上

(単位：円)



	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
1株当たり配当金	13円	15円	17円	18円	20円	22円
配当金総額	104百万円	120百万円	136百万円	144百万円	160百万円	176百万円
配当性向	32.7%	28.8%	24.4%	26.3%	22.8%	25.2%
純資産配当率	2.5%	2.7%	2.8%	2.7%	2.8%	2.8%

予想

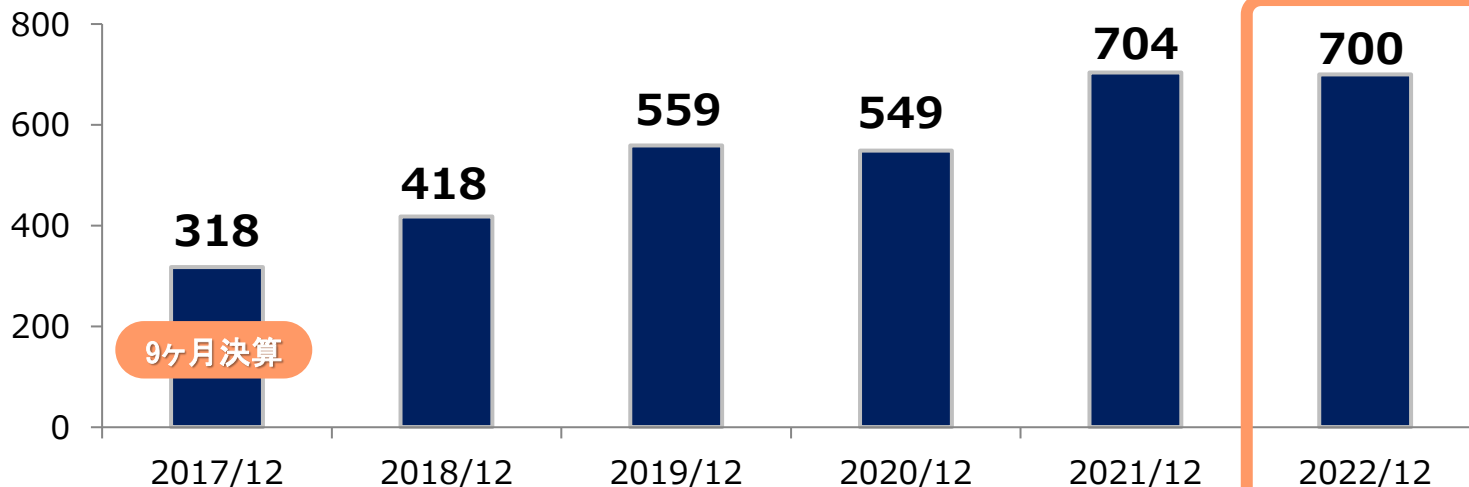
5. 参考情報（自己資本当期純利益率）

自己資本当期純利益率（ROE）

収益確保によるROE向上

本業での収益確保（営業利益計画の達成）、ROEの向上

（単位：百万円）



	2017年12月	2018年12月	2019年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
営業利益	444百万円	608百万円	746百万円	827百万円	953百万円	1,000百万円
当期純利益	318百万円	418百万円	559百万円	549百万円	704百万円	700百万円
1株当たり 当期純利益	39.74円	52.16円	69.75円	68.45円	87.86円	87.27円
ROE	7.6%	9.3%	11.5%	10.4%	12.2%	11.1%

予想

5. 参考情報（中期業績予想）

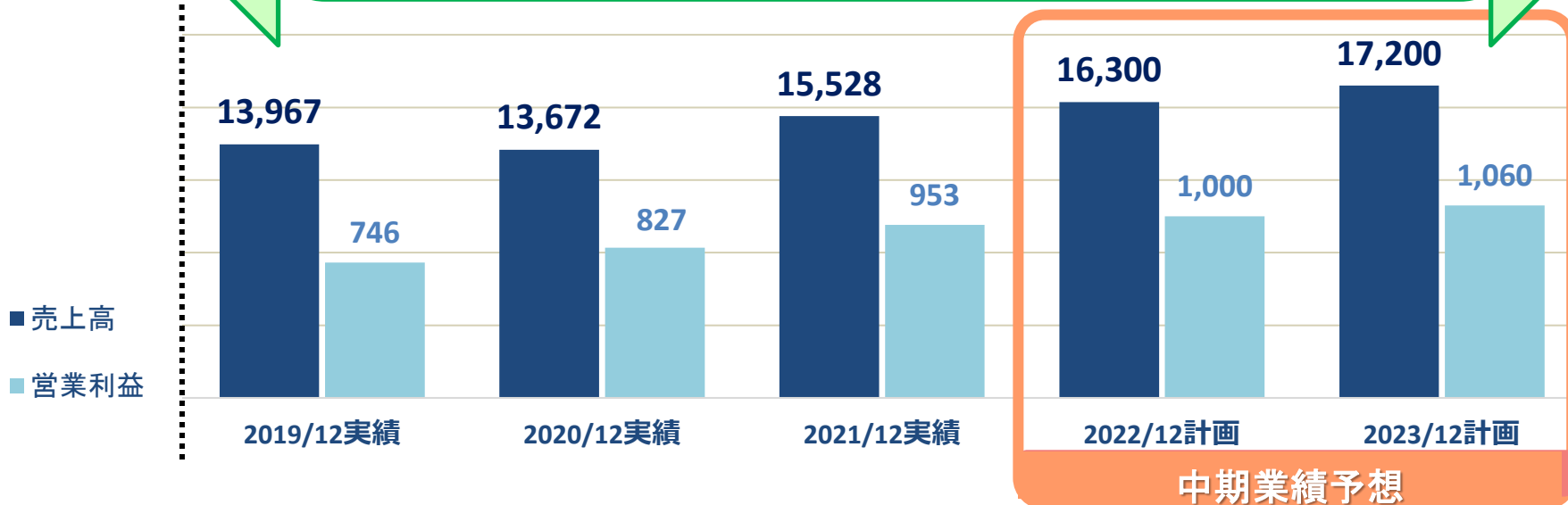
中期業績予想

※現在の中期計画（2021年～2023年）に合わせて記載しております。

（単位：百万円）

	2019年 12月期実績	2020年 12月期実績	2021年 12月期実績	2022年 12月期計画	2023年 12月期計画
	中期計画：2021年～2023年				
売上高	13,967	13,672	15,528	16,300	17,200
営業利益	746	827	953	1,000	1,060
（営業利益率）	5.3%	6.1%	6.1%	6.1%	6.2%

2019年～2023年までの
平均成長率(CAGR)予想：売上高+5.3%、営業利益+9.2%



5. 参考情報（会社概要）

会社プロフィール

名 称：	サイバーコム株式会社 Cyber Com CO.,Ltd.
所在地：	本店 宮城県仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル 横浜本社 神奈川県横浜市中区本町4-34
設 立：	1978年12月4日
代 表 者：	代表取締役社長 渡辺 剛喜
資 本 金：	3億99百万円
社 員 数：	1,269名（2022年4月現在）
事業内容：	ソフトウェア開発事業、サービス事業、ファシリティ事業

2022年12月期の主なニュース

日付	内容
2022/03/24	高精度屋内位置情報ソリューション『Cyber Position Navi Plus』を販売開始
2022/03/18	第44回定時株主総会を開催
2022/02/25	2021年12月期 決算説明会の動画を配信開始
2022/02/10	2021年12月期 決算発表
2022/02/01	お客様が必要とするITソリューションをワンストップでご提供する『Cyber Solution Plus』シリーズを販売開始

5. 参考情報 (これまでの歩み)

これまでの歩み



サイバーコムテクノロジーで社会に貢献する



当資料の利用に関して

当資料は、投資家の投資の参考となる情報提供を目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。また、業績予想に関する記述は、当社が当資料発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。